令和７年度　草津栗東行政事務組合予算編成方針

１．経済情勢等

わが国の景気の先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。

ただし、欧米における高い金利水準の継続に伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。

また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

２．構成市の財政事情

構成市では、原油価格・物価高騰などの影響に加え、社会保障関係経費である扶助費等の伸びにより、引き続き非常に厳しい財政運営が予測される。

３．予算編成方針

令和７年度の当一部事務組合の予算編成方針は下記のとおりとする。

当組合の歳入については、構成市からの負担金が大半を占めることから、構成市の厳しい財政事情を鑑み、最小の経費で最大の効果を生み出すことができるよう努めなければならない。

火葬場整備事業において、令和７年度は、令和６年度中に選定した事業者との契約の年となる。契約後は速やかに造成工事、建築設計に取り掛かる必要があるが、事業者と十分なコミュニケーションを図るとともに、モニタリング等により適切に管理することにより、事業を着実に進めていくように努める。

また、国や県の政策や補助施策等の動向に注視し、情報収集を行い、構成市からの負担金の削減に努めることとする。

組合運営においては、これまでの取り組みによる成果の検証を行うとともに、必要な改善を図り、可能な限りコストの抑制に努めた上で予算編成を行うものとする。

４．令和７年度予算の重点施策

・草津栗東行政事務組合火葬場整備・運営事業（造成工事・建築設計）